

「海をきれいに、安全に、秩序正しく」

海上保安友の会札幌支部

会報(第31号)

平成29年9月25日発行



見学者乗船中の「巡視船そうや」(7月22日 本部総合訓練)

【掲載内容】

平成29年度役員会
新副会長挨拶
新小樽部長挨拶
平成29年度一管区総合訓練
投稿記事
神威岬灯台について

海上保安友の会札幌支部事務局

〒047-0007

小樽市港町5番2号 小樽地方合同庁舎

小樽海上保安部 管理課 内

電話 0134-27-6118 FAX0134-23-9700

会員数 217名 (正会員 102名、家族会員 115名)(H29.8現在)

平成29年度海上保安友の会札幌支部役員会の開催について

事務局

平成29年6月4日(日)、小樽地方合同庁舎2階会議室において、本年度の役員会が開催されました。(役員12名のところ、出席5名、委任状4名)

当日は、4月に小樽海上保安部長として着任された梶山部長にも、顧問として参加していただき、徳梅会長の開催挨拶のあと、役員の変更が行われました。

今回の改選で、札幌支部発足当時から、長期にわたり役員として尽力されてきた北村副会長のほか、尾本・中源・泉元各理事が諸般の事情により退任されることとなり、後任として、高山理事が副会長、会の活動に積極的に取り組んでいただいている長谷山さん、岩井さん、木又さんの3名が理事へ就任することが承認されました。

なお、北村副会長については、当会の顧問として引き続き、ご協力願うこととなりました。

その後、平成28年度事業報告、決算報告、平成29年度事業計画、予算案において、事務局から報告がなされ、出席役員満場一致で承認されました。

平成28年度事業活動報告

行事名	開催地	実施日	主催	活動内容
日ロ合同訓練一般公開	小樽港	6月2日	第一管区海上保安本部	訓練に参加したロシア警備艇、巡視船つがる一般公開見学
所属巡視船、展示訓練見学会	小樽港	6月28日	小樽海上保安部	釧路海上保安部巡視船えりも・小樽海上保安部ほるべつ潜水士による合同潜水訓練見学
測量船「昭洋」一般公開	小樽港	7月9日(土)	第一管区海上保安本部	補給のため寄港した測量船の一般公開
「しれとこ」体験航海	小樽港	7月16・17日	小樽海上保安部	所属巡視船による体験航海
MPS開所式・「ほるべつ」体験航海	石狩港	7月22日	小樽海上保安部	石狩湾港MPS(マリンパトロールステーション)開所における所属船による体験航海
交流会	小樽市内	7月30日	第一管区海上保安本部	小樽潮祭り(練りこみ)に、本部・保安部職員と参加
交流会	石狩新港浜	9月4日	浜辺と海をきれいにする会	石狩浜海浜清掃に本部・保安部職員と参加
練習船「こじま」一般公開	小樽港	9月24日	第一管区海上保安本部	訓練航海のため寄港した練習船の一般公開見学

平成28年度 収支決算書

自 平成28年4月 1日
至 平成29年3月31日

海上保安友の会札幌支部

収入の部				支出の部			
科 目		予算額	決算額	科 目		予算額	決算額
大科目	中科目			大科目	中科目		
会費収入		円	円	事業費		円	円
		402,500	442,500			416,660	479,251
	会費収入	376,000	402,000		本部納入金	212,500	228,921
	特別会費収入	22,500	27,000	活動費	125,400	106,273	
	入会金収入	4,000	13,500	広報資料費	0	0	
寄付金収入		0	47,753	通信運搬費	77,760	143,167	
	寄付金収入	0	47,753	雑費	1,000	890	
雑収入		100	25	管理費		36,000	14,658
	受取利息	100	25		旅費交通費	6,000	3,000
	誤入金	0	0		事務費	20,000	11,658
				雑費	10,000	0	
前期繰越 収支差額		205,879	205,879	次期繰 越収支 差額		155,819	202,248
	前期繰越 収支差額	205,879	205,879		次期繰越 収支差額	155,819	202,248
合計		608,479	696,157	合計		608,479	696,157

平成29年度事業計画

行事名	開催地	実施日	主催	活動内容
第一管区総合 訓練見学会	小樽沖	7月22日(土)	第一管区海上保安本 部	各種事案対応訓練見学及び 会員募集、
交流会	小樽市	7月29日(土)	第一管区海上保安本 部・小樽海上保安部	小樽潮祭り(練りこみ)に、本部・ 保安部職員と参加
石狩新港浜海 浜清掃	石狩新港浜	9月3日(日)	浜辺と海をきれいにす る会	第一管区海上保安本部、小樽 海上保安部職員と参加
神威岬灯台一 般公開	積丹町	9月17日(日)	小樽海上保安部	一般公開見学
石狩灯台一般 公開	石狩市	10月22日(日)	小樽海上保安部・石狩 市	一般公開見学
交流会	未定	10月～12月	小樽海上保安部	会員及び海上保安部職員との 交流会

平成29年度 収支予算書(案)

自 平成29年4月 1日

至 平成30年3月31日

海上保安友の会札幌支部

収入の部				支出の部			
科 目		予算額	決算額	科 目		予算額	決算額
大科目	中科目			大科目	中科目		
会費収入		円 412,000	円	事業費		円 464,050	円
	会費収入	384,000			本部納入金	217,250	
	特別会費収入	22,500			活動費	167,400	
	入会金収入	5,500			広報資料費	0	
寄付金収入		1,000			通信運搬費	78,400	
	寄付金収入	1,000			雑費	1,000	
雑収入		1		管理費		50,000	
	受取利息	1			旅費交通費	20,000	
	誤入金	0			事務費	20,000	
					雑費	10,000	
前期繰越 収支差額		202,248		次期繰越収 支差額		101,199	
	前期繰越 収支差額	202,248			次期繰越 収支差額	101,199	
合計		615,249		合計		615,249	

平成29年度役員名簿

役員名	氏名	備考
会 長	徳梅 真	札幌
副会長	奥田 健二	札幌
副会長	高山 譲	札幌
理 事	高橋 成香	札幌
理 事	丹羽 祐而	札幌
理 事	元起 明恵	小樽
理 事	長谷山 豊	小樽
理 事	岩井 容子	小樽
理 事	木又 孝	小樽
会計監事	日下部隆雄	小樽
会計監事	工藤 慶晴	札幌

赤字新役員



【徳梅会長開催挨拶】



【梶山小樽部長挨拶】



【北村副会長退任挨拶】



【役員会参加者集合写真】

友の会札幌支部新副会長就任挨拶

海上保安友の会 札幌支部
副会長 高山 譲



海上保安友の会 札幌支部創設時より、長い間、ご活躍され小樽の名士でもございます北村副会長の後任として、本年度より副会長へ就任いたしました高山です。

就任早々の本年7月22日には、「第一管区海上保安本部総合訓練」が9年振りに実施され、会員の皆様には、巡視船「そうや」による体験航海を楽しみながら、訓練を見学していただくことができました。

当日は、低気圧の影響による早朝までの大雨から一転して晴天となり、会員皆様のご協力のもと、会員募集等を無事終了することができました。

本年度の大きな行事としては、9月3日、石狩新港浜で実施された「海浜清掃」で終了いたしましたが、次回以降の行事では、会員の皆様と笑顔でお会いできることを楽しみにしております。

また、今後は、会長の補佐役として、会員皆様を楽しんでいただける会の活動に、微力ながら貢献できればと思っております。

皆様のご協力を、心よりお願い申し上げます。



新小樽海上保安部長ご挨拶

小樽海上保安部長
梶山 裕司



海上保安友の会札幌支部会員の皆様、こんにちは！

4月1日付けで着任しました小樽海上保安部長の梶山です。
海上保安友の会札幌支部の会員の皆様には、日ごろから海上保安業務への深いご理解と、海洋環境保全や海上保安思想の普及活動などを通じて、海上保安庁への暖かいご支援・ご協力をいただきまして、心より感謝申し上げます。

さて、私の出身地は、鹿児島は薩摩半島の南端の山川という町で、本枯れ鰹節の産地であり最南端の有人駅があるところです。主に、七管、十一管という南方の管区で勤務してきました。北海道勤務は、今回初めてではありますが、出会う皆様から「小樽はいいところだよ！」と聞いています。それを信じこれからの生活を楽しんでいきたいと考えています。

海上保安庁は、領海警備を初め多岐にわたる様々な業務を担っておりますが、ここ小樽海上保安部でも地域の安心・安全のため、船舶交通やマリレジャー活動などの安全確保、迅速確実な人命救助や災害対応、悪質な犯罪の未然防止・取締りなど、日夜海の守りについております。今後も、海上保安友の会札幌支部会員の皆様や地元の方々のご声援をいただきながら、職員一同業務に励んでまいりますので、私ども海上保安官に暖かいご支援とご協力をお願いいたします。

ところで、私の前職であります、装備技術部船舶課首席船舶工務官は、全国で活躍している、巡視船艇の維持管理・建造する業務を担当しておりました。

最近の180トン、6000トン、6500トン、3500トン、大型測量船等の基本設計にも携わってきましたので、皆様とお会いする時間が有りましたら、最新の巡視船艇の建造等についての話題で盛りあがれば良いなと思っています。



小樽港沖合にて巡視船艇・航空機が合同訓練

～ 第一管区海上保安本部総合訓練を実施～

平成29年7月22日(土)、総合的な警備能力の強化及び海難救助技術等の向上を目的として、小樽港沖合にて道内の巡視船艇7隻、航空機3機による「平成29年度第一管区海上保安本部総合訓練」が実施されました。

近年の悪天候や東日本大震災対応などから中止が相次ぎ、実に9年ぶりの開催となった本総合訓練でしたが、訓練当日は好天に恵まれ、視閲船である釧路海上保安部所属 巡視船「そうや」には、来賓や道内外から公募により訪れた方々、そして友の会の皆様 計1355名(午前705名、午後650名)が乗船し、拍手や歓声を上げながら巡視船艇や航空機による迫力ある訓練に夢中で見入っていました。

また、訓練展示以外の時間も楽しんでもらえるように「そうや」のヘリコプター格納庫内には、うみまる、うーみんとの写真撮影・制服試着コーナー、海の相談室、マリネレジャー安全推進室、海洋環境保全、そして海上保安友の会募集コーナーなどが設置され、北海道日本ハムのファイターズガール3名も特別参加して、各種イベントに花を添えてくれました。(今年度の海難防止ポスターにも協力してくれています。)



【乗船前の状況】



【訓練開始】



【岩崎本部長による視閲】



【高速機動連携訓練】



【火災船消火訓練】



【負傷者吊上救助訓練】



【密輸容疑船捕捉訓練】



【航空機離着船訓練】



【会員募集コーナー】



【ファイターズガールとうみまる・うーみん】

「第三管区展示総合訓練」体験記

海上保安友の会 札幌支部
会長 徳梅 真

『はやくも秋近し』という感じの季節になりましたが、会員の皆様におかれましてはいかがお過ごしのことでしょうか。

今回の投稿は、本年5月20日に第三管区海上保安本部で行われました「展示総合訓練」の様子を少し報告させていただきます。

5年ぶりの開催ということもあり、本庁からのご招待を受けましたので、仕事(?)を絡めて参加させていただきました。

当日と翌日の2日間に分けての開催に約4,000名の方々が乗船されたとのことで、相変わらずの人気イベントだと関心を致しました。

私は、巡視船「やしま」に乗船でしたが、当日は11:00からの受付開始にもかかわらず1時間前に晴海ふ頭へ到着した時点で既に多数の方が受付に並ばれていたことには驚きでした。



【乗船した「やしま」】



【乗船受付時の状況】

私は、招待でしたのでヘリ甲板の椅子席ではなく、船室を開放しての控え室が用意されておりましたことには助かりました。(日差しが強かった為)

控え室では、秋田支部会長の佐原孝夫妻とご一緒でしたことから、乗船中は互いの支部活動について意見交換等をさせていただき、非常に参考となりました。

また、案内役として、以前、小樽保安部に勤務されておりました土崎弘志様が、下船までマンツーマンでお相手をして下さり有り難い思いでした。(ただ、自由がきかず訓練や船内見学等をじっくり見学できなかったことが少し残念でした。土崎様ごめんなさい・・・)

さて、肝心の展示総合訓練のことは、保安新聞等で皆様が既にご承知のことと存じますので、この場では割愛させていただきます。



【編隊航行の状況】

最後になりますが、昨今の情勢では、今回の開催も許す限りのパフォーマンスではなかったかなと思いました。現に下船時には多くの方々が『満足げ』に帰路についていたのが印象的でした。



～下船時は、皆さん大変に満足そうでした～

小樽が一番熱くなった日 ~ 第51回 おたる潮まつり ~

海上保安友の会 札幌支部
澤田奈緒美

夏になると、小樽ではたくさんのお祭りが開催されます。その中でも一番大きく、小樽市民が最も楽しみにしているのが、『おたる潮まつり』です。お祭りの何日も前から、街のあちこちで「潮音頭」と「潮踊り」が流れ、「ドンドコザブんだ ドンザブーン」の節が耳から離れなくなります。今年は、7月の28日・29日・30日の3日間で行われました。今回で51回目、小樽市民が一番熱くなる3日間です。

『おたる潮まつり』では、2日目に潮ねりこみが行われます。今年は94の梯団で、約8000人の規模でした。この潮ねりこみに、第一管区海上保安本部、小樽海上保安部、海上保安友の会札幌支部のメンバーで構成した「海保うしお会」も参加しました。総勢84名、「海の安全と安心への願いを込めて、参加者一同、力強くねりこみます。」というキャッチフレーズのもと、全員が気持ちを1つにして踊ります。



【出発前に参加者記念撮影(小樽地方合同庁舎前)】

この日は朝から良いお天気で、まさにお祭り日和でした。合同庁舎の会議室で踊りの練習をし、オリジナルの振り付けやかけ声を確認した後、出発地である花園グリーンロードを目指します。梯団の山車に描かれているのは、もちろん、うみまる君とうみみんちゃんです。メンバーの両手には、JCGと118番が印刷されたオリジナルのうちわがあり、これを振りながら元気いっぱいにてりこみます。



友の会メンバー(少し緊張気味?)



「♪ドンドコザブんだ ドンザブーン♪」



真夏の太陽が照り付ける中、ゴールの小樽第3号埠頭そば、メインステージに向けて梯団がスタートします。うちわを空高く掲げ、「海～保！」と声をそろえながら、みんなで力強く海保と118番を宣伝します。海保の皆さんと一緒にのがとても嬉しくて、暑くても笑顔で踊り続けました。途中、沿道で見ている方々から、「頑張っ！」と声をかけていただいたり、水分補給の飲み物をいただいたり…。温かい心遣いのおかげで、最後まで楽しく踊ることができました。中央ステージでももちろん、しっかり海保と118番をアピールしました。終わってみると、あれだけ長い距離をねりこんだのにも関わらず、不思議と疲れを感じませんでした。夕方からの懇親会では、海保の皆さんと和やかな雰囲気でお食事し、さらに親交を深めることができました。



ゴール！！（潮まつり会場メインステージ）



大変お疲れさまでした

今年の『おたる潮まつり』の来場者数は、述べ116万人だったそうです。お祭りが終わると、にぎやかだった小樽の街も落ち着き、ちょっぴり寂しい気持ちになります。気が早いかもしれませんが、また来年、この梯団で『おたる潮まつり』に参加するのが楽しみです。

いつも、友の会のメンバーと楽しく交流できるイベントを考えてくださる海保の皆さんには、心から感謝しています。

神威岬灯台が「恋する灯台 2017」に認定

平成 29 年 6 月 1 日、積丹町神威岬の先端にある神威岬灯台が、この度、日本ロマンチスト協会と日本財団が主催する「海と日本プロジェクト」の 2017 年「恋する灯台」に選ばれました。

「恋する灯台」は海の道標としての灯台が、恋人たちの未来を照らしふたりの道標に、灯台がふたりの未来を見つめる場所なるように、ロマンスの聖地として認定されるものです。

昨年度は全国で 21 箇所が認定され、今年は本灯台を含めて 10 箇所が新たに認定されました。北海道では昨年度の湯沸岬灯台(厚岸郡浜中町)について、2 箇所目になります。



積丹ブルーの海と灯台



神威岬灯台

神威岬灯台に行くには、「チャレンカの小道」と呼ばれる尾根道を 25 分程度歩きます。しかもその手前には、「女人禁制の地・神威岬」と書かれた門があります。大昔は女人禁制だったそうです。

今は男女問わず門を通り、中に入れますが、強風時には事故防止のため、この門が閉鎖されることがあります。

神威岬は昔から海の難所と呼ばれ、風が強いところで、また、急に天候も変わることがあり、船乗り達から恐れられていた場所です。門があいているのは、幸運なことかもしれません。

この門を通り抜けて、長い険しい道を歩き、灯台にたどり着いたカップルは、その未来を灯台に祝福されるでしょう。



遊歩道入り口の門



灯台への長い道のり



松井積丹町長と梶山部長



～ 会員の皆様へ～

今年度から、経費削減の一環として、通信運搬費の削減に取り組んでおります。

これまで各種イベント情報などの周知に、正会員様へ郵送により文書や返信用ハガキなどを送付していましたが、小樽海上保安部及び友の会ホームページによる周知を基本とすることにしました。

事務局としましては、これまで以上にホームページの更新を迅速に行うこととしておりますので宜しくお願いします。